

## 前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 04 河川砂防・雨水排除施設の整備

主管課長職・氏名	河川課長 五日市 朗
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	市内を流れる河川や市街地の雨水排水の氾濫による浸水被害を未然に防止するため、浸水対策にかかる計画的な整備を行うとともに、火山砂防や土石流・地すべりなどの土砂災害から市民を守るため、これらを所管する国や県に協力し必要な整備を推進することにより、自然災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 件 浸水被害件数	1	1	1	1	1	1	F	
			1	-	-	-	-	0.0	
2	幸 福 単 位 % 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単 位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し 単 位 件 04040100 安全安心な雨水排除施設の整備 浸水被害件数	1	1	1	1	1	1	F	
			1	-	-	-	-	0.0	
2	幸 福 単 位 % 04040100 安全安心な雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
3	暮ら し 単 位 % 04040200 自然災害に対する地域保全 災害に強いまちだと感じている人の割合	42.7	44	44	45	46	47	D	
			40.7	-	-	-	-	△46.5	
4	幸 福 単 位 % 04040200 自然災害に対する地域保全 滝沢市に愛着を持っている人の割合	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
	単 位								

## 前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：04 河川砂防・雨水排除施設の整備

主管課長職・氏名	河川課長 五日市 朗
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川や雨水排水による浸水被害を未然に防止するため、排水路の整備を実施しました。</li> <li>土砂災害から市民を守るため、国への直轄砂防事業の促進要望や県の土砂災害警戒区域指定手続きへの協力を実施しました。また、指定区域について点検パトロールを実施しました。</li> </ul>

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
	<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な河川維持管理</li> <li>経営推進費関連河川改修工事の事業化</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草刈りやスクリーン等の定期点検・清掃、住民協同による除草等への支援により適正な河川維持管理を行いました。</li> <li>経営推進費関連河川改修工事の事業化に向けては、動植物の調査、保全方針の検討、準用河川指定を行いました。</li> </ul>

## 3. 基本施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<p>近年、局地的な集中豪雨が多発してきており、市内でも平成27年6月に巢子地区で時間雨量約60mmという、これまでに無い豪雨が発生し、前日には紫波町において時間雨量約100mmもの豪雨が発生しました。集中豪雨がより身近な範囲で発生してきており、河川整備や雨水排水施設整備への要望が、いっそう強くなってきました。</p>

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
	<p>河川災害、雨水浸水被害、土石流・地すべり等の土砂災害は、住民の生命や財産に大きな影響を与えることから、継続して取り組んで行くことが必要です。</p>

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <p>河川の維持管理については、住民の安全・安心を確保していくために適正な維持管理を継続して推進し、住民主体の除草活動等についても支援を継続して推進します。</p> <p>河川改修等の整備については、河川災害、浸水被害等から住民の生命や財産を守るため、継続して事業を推進します。</p> <p>【引継課題】</p> <p>河川改修については、多大の費用と時間を要することから、財源の確保とともに効果的、効率的な手法を検討が必要です。</p>

